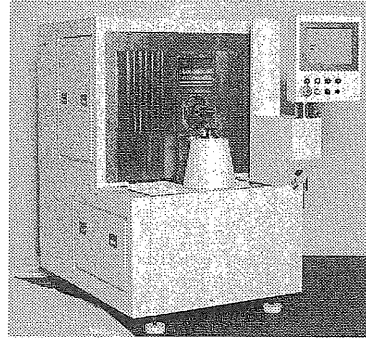


クロイツ 加工速度 25倍に向上 歯車量産向けバリ取り機

【名古屋】クロイツ（愛知県刈谷市、坪根巖社長、05666・22・5263）は、歯車（ギア）の量産に対応するバリ取り機「RBR-D5S」写真」を開発した。11月に発売する。独自のバリ取



り方法と特定のギアの量産に特化した仕様による。加工速度を従来の約25倍に高めながら、価格を半分近くの600万円（消費税抜き）に抑えた。自動車のエンジン部品に使うギアの加工需要の取り込みを狙う。

サイズは横1×奥行き2×高さ1.7メートル。2.5のモジュール（歯の大きさを表す規格値）に対応する。国内で年間10万台、海外で同20

台の販売を目指す。ギアのバリを高速で取り除くために編み出した「スクレイピング」という技術を採用。モジュール1のギアで1秒間に50

歯のバリを除去できる。また、さまざまなワーク（加工対象物）に対応する従来の汎用機に比べ、遊星ギアなどの自動車部品でよく使う特定のギア

に対象を絞り、量産向けに機能を特化して低価格化も実現した。同社は新機種を自動車産業を攻略する「世界戦略機種」と位置づけ、積極的に営業を進める。24日に東京ビッグサイト（東京・有明）で始まる「機械要素技術展」で国内市場向けに披露するの機に、販促活動を本格化する。